



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第42号
R4.10.4
文責：佐藤

おはようございます

10月3日(月)は、爽やかな秋晴れの朝でした。いつものようにあいさつ運動に、菅原久和様、小林理英子様、阿部正一様、那須美紀子様、佐藤重昭様、中村繁喜様、佐々木悟様、加藤ひと美様、田口民雄様、鈴木睦美様、佐々木聡子様、岩城駐在所竹谷様がご協力くださいました。ありがとうございました。5年生は稲刈りの日だったので長靴とか荷物が多かったのですが、全体的に明るいあいさつが聞かれたように思います。



5月に縦割り班で植えたプランターの花が、この季節になって元気がなくなってきました。しかし、左の写真のようにまだお世話してくれている人がいるのです。さすが6年生！



太鼓 だんだん上手になるね



9月28日(水)の5校時、3年生は旧藩祭の太鼓の先生小林悟様を講師にお迎えし、演奏の仕方について教えていただきました。

初めはお囃子のリズムや先生の演奏をしっかり聴きました。あまりの音の高さにびっくりしてしまった子どもがいたようです。次にお囃子に合わせて太鼓を叩いていくと、回数を重ねるごとにどんどん上達していったそうです。耳で聞いて、体で覚えられるものなのですね。

この後、全員で手踊りの練習も予定しています。篠笛、太鼓、踊りと子どもたちは何を選択して披露してくれるのか、とても楽しみになってきました。

5年生 稲刈り体験



10月3日（月）の3・4校時、5年生は5月20日に田植えした田んぼで稲刈りを行いました。今回も折林ファーム様、JAしんせい様のご協力をいただきながら、体験させていただきました。ありがとうございました。

子どもたちが鎌を持って一株ずつ刈ったのは20分足らずでしたが、お米がついた穂を残さないように、そして落とした穂を大事に拾いながら作業しました。その後、4倍の面積の稲をコンバインで刈り取っていく様子を見せてもらい、あっという間に作業が進んでいくことに驚いたことでしょう。



刈り取った籾にも触らせてもらい、気付いたら籾殻をむいて玄米をポリポリと食べている子どもたちも・・・。また、高価なコンバインの座席に座らせてもらって、楽しんだ子どもたちも多いです。

最後には、なぜ稲の葉っぱはチクチクしているのか、なぜ自分たちが苗を植えた田んぼの稲が潰れてしまったのかなど、難しい質問にも三浦社長様には分かりやすく回答していただきました。

5年生が収穫したお米（あきたこまち）は、近いうちに給食で全校児童がごちそうになることができるそうです。今からワクワクします。

難しいけど、楽しいね

10月3日（月）の昼休み縦割り班の青組がランチルームへ集合するよう、放送がありました。今回は児童会で「謎解き」を企画してくれたらしく、色別で日にちが決まっているようです。1～6年生のメンバーが協力して問題を解いていました。正解すると全員に手作りの景品が用意されていて、喜んでもらっていく子どもの姿がありました。



子どもの企画
がうれしいです。